

平成 23 年 1 月 26 日 (水) 千葉日報新聞
 ～「地域と生きる」福祉の輪広げる～



□NPO法人いぶき理事長□

「地域と生きる」
 福祉の輪広げる

菅谷 委佐雄さん(62) 香取市

「福祉の原点は地域と共に「福祉の世界」で働き出しに生きること」を信念に、たのが21歳の時、「子ども長年にわたって地域の幼稚の時から一緒に遊んだりと園や老人ホームの慰問の他、知的障害者の支援活動を続けている。グループ名の「いぶき」は、ボランティアを通じて親交のあった国民的歌手の故三波春夫さんが名付けてくれた。

その後「地域に開かれ、受け入れられる施設を造ろう」と独立。

香取郡内の養護施設の理事長を務める叔父に誘われ、1999年に念願の資金作りのため焼肉店を開業し、



障害者の生活支援する「タイガー」

生活ホームを立ち上げ、5年ほど前にNPO法人化。現在は50代の男女6人を「家族」として受け入れるなど、障害者に住宅を手当てる生活支援を行っている。

大相撲の元東関親方(元関脇・高見山)との日本・ハワイ交流をきっかけに、元横綱、曙太郎さんと共に社会福祉への活動も続ける。今では多くの力士らが活動に共感し、福祉の輪が広がりつつある。時には曙さんからももらったトラのマスクをかぶることも。

漫画「タイガーマスク」の主人公、伊達直人を名乗る匿名者が、各地の児童相談所や児童養護施設にランドセルなどの寄付が相次いでいることに「福祉の意識を持った人が出てくるのはいいこと」と好意的に受け止める一方、ブームで終わる可能性も指摘する。

「年齢が若かったら、障害者を支援する施設をもつと滑りたかった」と本音を打ち明けながらも「ボランティアは来てもらってはだめ。自分たちで行かないと、行動力で示していかないと。夢？自分が先頭に立ちたい」と目を輝かせた。

曙さん 香取市の親善大使へ 第二の古里に貢献

香取市は初の親善大使として、大相撲元横綱の曙太郎さん(41)を任命することが15日までに分かった。市は当初4月下旬に委嘱式を行う予定だったが、曙さんの映画ロケなどを理由に延期。市は「秋にもイベントを開いて委嘱式をやりたい」と話している。

市によると、曙さんは同

市が合併前から長年、香取地域の社会福祉に貢献しており、昨年2月には同市の社会福祉大会で特別功労に表彰された。今回の打診に曙さんは「香取市は自分にとって第二の古里とも思える場所。風土もハワイに似ている」と語っている。

市は親善大使か観光大使での任命を考えており、宇

井成一市長は「福祉や教育、青少年の育成に尽力しても

らっている人は多くいるが、曙さんの活動は際立っている。また曙さんの大きくて強いイメージは、今後香取市が目指すところになっている」と話している。



宇井市長を訪問した大相撲元横綱の曙さん(右) = 14日、香取市役所



中学生の質問に笑顔で答える大相撲の幕内高見盛関＝16日午前、香取市立香取中

人気者・高見盛 中学生にエール

香取老人ホームも慰問

大相撲で制限時間前に気合を入れる独特のしぐさや、粘り強い取り口で人気がある幕内力士、高見盛関(34)＝東関部屋＝が16日、香取市津宮の市立香取中学校(斎藤崇生校長)と養護老人ホーム「ひまわり苑」(安藤清所長)を訪れ、市

民らと交流した。香取中では、3年生の大半が公立高校の入学試験で不在だったが、1、2年生を中心に約130人が参加。角界きっての人気者の訪問に、3年の香取英忠君(15)は「テレビで見るより



入所者にリンゴを手渡す高見盛関＝16日午後、養護老人ホーム「ひまわり苑」

大きくて迫力がある。自分の学校に来てくれたのでこれからは応援したい」。高見盛関は「若い皆さんを見てみると(相撲界に)

スカウトしたいくらい」と笑顔を見せ、「若い時は何でもできる日本刀みたいなもの。たたけばたたくほど良く、研げば研ぐほどいい」と独特の言い回しでエールを送っていた。

その後、青森県板柳町で実家の両親が作った真っ赤なリンゴをプレゼント。2年の宮崎有加里さん(14)は「男子がぶつかったり、たいたいでも平気なのは驚いた。力士は住む世界が全然違うと思っていたが、予想以上にフレンドリーで好印象」とっこり。

また養護老人ホームでは、車椅子の入所者らに「長生きして私の相撲を見て元気に過ごしてください」と笑顔であいさつ。1人ずつリンゴを手渡しながら「歯が丈夫な人は硬いリンゴをカリッとかじって。かめなければすりつぶして食べて」と呼び掛け、笑いを誘っていた。

福祉の輪を広げよう

香取で慈善イベント

香取市小見川地区を中心に社会福祉活動が続けるNPO法人いぶき(菅谷委佐雄理事長)は10日、市内の施設で慈善イベントを行った。市で初の親善大使の就任が決まっている大相撲元横綱の曙太郎さん(42)も参加し、地域住民らと福祉活動の輪を広げた。

イベントは同NPOの秋の恒例行事で、今年は「震災に負けないで、がんばろう!日本!」をテーマに義援金も募った。曙さんは同NPOの活動に賛同し、顧問として毎年、地域の幼稚



大手飲料メーカーのテレビCMで焼きそばを作っている腕前を披露した曙さん＝10日、香取市貝塚

ルで焼きそばを作っている曙さんが直接調理した焼きそばも人気を集めた。

曙さんは「みんな元気になりましょう。頑張ろう」と思うのではなく、香

園や老人ホームなどの慰問の他、知的障害者らの支援活動が続けている。

地元の食品会社の焼きたてのソーセージや、ちゃんこ鍋も振る舞われ、1000人を超える参加者らは多くの手作りの味に舌鼓を打った。また、大手飲料メーカーの炭酸飲料のコマーシャル

取市は絶対に大丈夫と思っている」とエール。菅谷理事長(62)は「福祉も大事だが、今回は震災のために少しでも地域に貢献できれば」。善意の義援金は全額市に届けるといふ。



命の誕生伝える動物広場

香取市の知的障害者グループホーム「いぶき寮」敷地内に動物広場が完成した。菅谷委佐雄理事長は「子どもたちに、動物を通じ命の誕生を伝えていければ」と話している。

命の誕生伝えたい

香取 NPO いぶき 動物との交流広場完成



↑ 竹林などを整備して完成した里山動物広場。ヤギ2頭を飼育する予定で、訪れた人と触れ合えるという＝20日、香取市貝塚

香取市・小見川のNPO法人いぶきが運営している、知的障害者生活ホーム「いぶき寮」(同市貝塚)の敷地内で整備していた里山動物広場が完成し、20日に開所式が行われた。理事長の菅谷委佐雄さん(67)は「子どもたちに、動物を通じて命の誕生を伝えていければ」と話している。



→ 元横綱の曙さんも駆け付け、多くの子どもたちにサインのサービス

動物広場は法人化した10さんと施設利用者、地区住年ほど前から取り組んで、民らが昨年夏ごろから敷ける里山構想の一環。菅谷 地内の竹林を伐採し、廃材

などを用いて整備していた。同施設ではボニーやクシヤク、ニワトリ、大型犬などさまざまな動物を飼育しており、このうち広場ではヤギ2頭を放牧する予定。一般の人に動物と触れ合える場として公開する。式には同NPOの活動に賛同し、役員を務める大相撲の元横綱でプロレスラーの曙太郎さん(46)も家族で駆け付け、セレモニーを盛り上げていた。NPO いぶきは「地域と共に生きる」を信念に、1993年に地域福祉協力会「いぶき会」として発足。99年に寮も開設した。市内の知的障害者の生活ホームの運営や地域の小中学校、老人ホームへの慰問活動などを行っている。